

日本語演習

4 units (selection) 3rd-year(2nd semester), 4th-year(2nd semester)

Shinsuke Kishie · PROFESSOR / DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL STUDIES

Target) 日本の一地域においてフィールドワークを行い、調査によって得られたデータの処理の方法として、「方言データベース」「音声データベース」の構築方法について学ぶ。

Outline) 地域言語研究法とデータ分析方法の習得を目的とする。日本語諸方言の音韻・アクセント・文法・語彙などの特色を把握する。前期後半では、フィールド調査に関する調査票の作成、フィールド調査の方法等について学ぶ。夏期休業中期間等を利用し、フィールドワークを実施する予定である。現段階で調査地域は未定である。ちなみに、10年度は三重県志摩地方に3泊4日の調査に出かけた。調査地域は、受講生の意見を尊重して決める予定である。後期では、エクセル、音声分析などのソフトの操作法を学習しつつ、受講生全体での共同作業として、調査票の整理、データ入力を行ったあと、各調査項目の分担を決め、各自発表を行うことにする。また、年度末には調査報告書を各自が分担して刊行する予定である。

Goal) 野外での方言調査を通じて、生きた方言に触れる

Schedule)

1. 臨地方言調査の総括と反省
2. データ整理 1.
3. データ整理 2.
4. データ整理 3.
5. データ入力とデータ分析の方法を学ぶ 1.
6. データ入力とデータ分析の方法を学ぶ 2.
7. データ入力とデータ分析の方法を学ぶ 3.
8. 発表の分担の打ち合わせ 1.
9. 発表の分担の打ち合わせ 2.
10. 各自 (各グループ) による研究発表 1
11. 各自 (各グループ) による研究発表 2
12. 各自 (各グループ) による研究発表 3
13. 各自 (各グループ) による研究発表 4
14. 各自 (各グループ) による研究発表 5
15. 全体的にデータを見渡し、特徴的な結果について整理する。
16. レポート等、報告書の作成。

Evaluation Criteria) 成績評価は、発表 (30%)・レポート (50%)・ソフト等の習得 (20%) といった比率に基づく。フィールド調査には参加すること。調査への

参加は出席点に加える。

Re-evaluation) 無

Textbook)

- ◇ 教科書:特に指定しない
- ◇ 教材:授業でプリントを配布する
- ◇ 西日本諸方言に関する必要な論文、データベースソフトの操作マニュアル等を授業で紹介したい

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221458>

Contact)

⇒ Kishie (+81-88-656-9309, kishie@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL